

名大遺伝子実験施設セミナー

Center for Gene Research Seminar

緑藻クラミドモナスの概日時計

講師：松尾 拓哉 氏

(名大遺伝子実験施設・遺伝子解析分野)

日時：2015年11月27日(金) 13:00~14:00

場所：理学部F館 F-301講義室

昼夜の変化に適応するため、生物は進化の過程で概日時計を獲得しました。概日時計を構成する時計遺伝子は進化的に保存されておらず、複数の起源があったと考えられています。しかし、時計としての性質は保存されており、そこには共通の動作原理が存在すると考えられますが、その実体は未だに解明されていません。真核生物の時計遺伝子の研究は、哺乳類や昆虫、高等植物などの高度に複雑化した体制を持つ多細胞生物を中心に進んできました。一方、近年になって、単細胞生物である真核藻類のいくつかの種においても時計遺伝子の研究が始まりました。本セミナーでは、その一つであるクラミドモナスの時計遺伝子の研究を、高等植物との比較を交えて紹介します。

参考文献：Niwa and Matsuo et al. *PNAS*, 110,

13666-13671, 2013

Matsuo et al. *BBRC*, 418, 342-346, 2012

Matsuo et al. *Genes Dev.*, 22, 918-930, 2008

世話人：木下 俊則 (内線 4778)

kinoshita@bio.nagoya-u.ac.jp